

OMU

大阪公立大学人権問題研究センター

RCHR

第193回サロンde人権

アートと地域の関わり： 被差別部落と日本美術史に 関する取り組みを軸に

話題提供：小田原 のどか氏

(彫刻家、評論家／横浜国立大学都市科学部 講師)

2月18日（水）午後2時～4時

大阪公立大学

人権問題研究センター共同研究室

定員 対面 10名 オンライン 100名

事前申込・先着順

無料

アートは社会問題や社会運動と、どのように関わることができるのでしょうか。住吉部落史研究会と共に開催した研究発表集会や、水平社博物館と共同開催し同館では初となる本格的美術展「生誕130年記念 西光万吉の表現」など、近年取り組んできた具体的な事例にふれつつ、世界的な潮流となっている「ソーシャリー・エンゲイジド・アート」の動向や、「マイナー・トランスポーティナリズム」などの理論的枠組みとともに紹介いたします。

参加希望者は人権問題研究センターのホームページお問い合わせフォームより
前日正午までにご連絡ください。折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

(<https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/>)

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

お問い合わせはセンターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>